	作成年月日 2016/12/20
氏名漢字(ひらがな)	西 襄二(にし じょうじ)
技術士専門·部門名	経営工学・ロジスティクス(物流)
文部科学省登録番号	第 21284号 登録年月日(西暦):1988年 2月11日
窓口連絡先電話・メール	(平日 9:00~17:00) E-mail:madoghchi@kantei-center.com
E-mail アドレス、	E-mail: MXL03300 nifty.ne.jp (@)
ホームページ URL	URL:http:// (未開設)
会社·事務所名	物流問題研究所
専門事項	・交通事故因果鑑定・自動車及び関連製品品質/事故因果鑑定・物流機器及び関連製品品質/物流過程事故因果鑑定・力学解析・人間工学・経営工学
技術士以外の資格 (取得年・西暦)	大型自動車第二種運転免許
所属団体等	公益社団法人日本技術士会(経営工学部会) 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(個人正会員)
略歴	学歴:自由学園最高学部(大学)機械工学科卒業職歴:いすゞ自動車販社(東京いすゞ自動車、新東京いすゞモーター)で市場品質全般、顧客業種別最適車両設計提案(現代のソリューションビジネス)部門長を経て、いすゞ自動車に出向/後に転籍。多品種生産システムへの転換プロジェクトにて主査。後にソリューションピジネス主体のいすゞ特装開発㈱で後進指導。1998年退職執筆歴:1962年より月刊「自動車工学」誌に商用車に関する新製品解説、製品不具合解析等を主題とした記事を寄稿。1998年より月刊「NewTRUCK」誌(現月刊「TheTRUCK」誌)に新製品解説、物流システム動向、世界の商用車研究、等の主題による記事を定期執筆。現職:1998年設立の物流問題研究所にて科学技術鑑定、執筆業務に従事。
主な著書・論文	「日本のトラックの歴史」共著 (株日新出版刊(2006.12) 「精密機器・電子機器・包装ルントブック(自動車組み立て工場(2))」共著 (株フシ テクノシステム(1991.7) 「大災害に対応するロシスティクス・色彩分別法提案」月刊「PE」誌日本技術士会(2016.8)
受注可能な業務	交通事故因果解析原因鑑定、自動車品質·火災事故因果解析原因鑑定物流事故因果解析原因鑑定、物流機器事故因果解析原因鑑定
主たる 鑑定事例 (* 印は協 働鑑 定)	2002 年「自動車用品に係わるPL訴訟の製品欠陥鑑定」依頼者: A高裁2004 年「交差点内自動車2台による物損事故原因鑑定」依頼者: 損保会社「作業車火災事故原因鑑定」依頼者: 自動車リース会社「作業車火災事故原因鑑定」依頼者: 自動車リース会社2006 年「幹線路上で自動車2台が関係する接触事故蓋然性鑑定」* 依頼者: B簡裁2007 年「高速道路走行中の大型貨物車単独火災事故原因鑑定」* 依頼者: 運輸企業「自動車用品に係わる火災事故出火原因鑑定」* 依頼者: 用品メーカー2008 年「高速道路走行中の中型貨物車の駆動系軸破損事故鑑定」* 依頼者: 整備工場主2008 年「一般国道横断歩道付近で発生した人身死亡事故過失度合い鑑定」* 依頼者: 弁護士2009 年「山間道路走行中に発生したスボーツカー単独火災事故因果鑑定」* 依頼者: C地裁2010 年「大型コジェネエンジン破損事故因果鑑定」* 依頼者: 損保会社「乗用車エンジン破損事故因果鑑定」* 依頼者: 損保会社「乗用車エンジン破損事故因果鑑定」* 依頼者: 損保会社2012 年「大型コジェネエンジン破損事故因果鑑定」* 依頼者: 損保会社2013 年「障害致死事件殴打力鑑定」* 依頼者: D地裁(2014 年後半~2015 後半の期間はコーディネーターの職に有り事案担当せず。)2016 年「原付二輪車2台の衝突形態鑑定」依頼者: 弁護士「大型貨物の搬送中の転落事故衝撃力鑑定」依頼者: 損保会社ほか多数
その他(活動方針)	国のから数 自動車及び物流に関わる最新動向を連続して取材・執筆する事は両分野の知見を 継続的に更新することに繋がり、鑑定業務にも活用できる相乗効果がある。